施策コード	341	施策	健康づくりの推進	
管理事業	保健	事業	9 枚のうち	5 1 枚目
事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
①「健康すいた21」	推進事業	保健センター	平成28年3月に策定した「健康すいた21(第2次)」に基づき、健康管理など8分野について、健康づくりに関する取組の普及・啓発などにより、計画を推進する事業。	が独自に実施し ている事務
決算額(事業費)		価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の
	■ 市氏二 □ 有効性	一ズ、社会的役割	・「健康医療のまちづくり」の実現には、本計画の推進が重要である。	方向性
平成 30 年度	□ 効率性		・・今後は、現状の健康に関する市民意識の現状を把握し、計画の第3次計画の策定 向けて取組を進める必要がある。	
(千円)	□ 公平性 □ 持続可		・健康寿命の延伸に向け、年輪プランや国保データヘルス計画との連携を図りながら 捗を図る必要がある。	<sub>進</sub> 継続
200	※課題がある			
事業名		<b>所管室課</b>	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 1歳6か月児優	<b>建診事業</b>	保健センター	幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である1歳6か月児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。	事業全体が法定 事務
決算額(事業費)		価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	一 今後の
	□ 市民二□ 有効性	一ズ、社会的役割		方向性 方向性
平成 30 年度	□ 効率性			Abl. 4-
(千円) 18.131	│□ 公平性 │□ 持続可			継続
10,131	※課題がある			
事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
0504.005	———— 科健診事		2歳6か月月を対象に、口腔内検索・カリオスタット検索・歯科保健指・は	が独自に実施し
③ 2成6か月児圏 業		保健センター	導を実施する。	ている事務
決算額(事業費)	□ 市民二	<sup>፲</sup> 価の視点 ーズ、社会的役割	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の 方向性
平成 30 年度	□ 可效性			刀旧圧
(千円)	□ 効率性 □ 公平性			継続
6.263	□ 公平性 □ 持続可			和全市党
- ,	NV SER RE I シムーフ			
	※課題がある	ものは■		
事業名	※詸趄かめる	ものは■  「所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
事業名 ④ 30歳代健康診			20条件の主民及び40条以上の共活促業系統会を対象に主由医療機関等には	
④ 30歳代健康診	<b>查事業</b>	所管室課 保健センター 価の視点	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に オ	nが独自に実施して いる事務 <b>今後の</b>
④ 30歳代健康診 決算額(事業費)	查事業 ■ 市民二	所管室課 保健センター 価の視点 ーズ、社会的役割	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	5が独自に実施して いる事務 今後の 方向性
<ul><li>④ 30歳代健康診</li><li>決算額(事業費)</li><li>平成 30 年度</li></ul>	查事業 ■ 市民二 □ 有効性 □ 効率性	所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康 保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28	が独自に実施して いる事務
<ul><li>④ 30歳代健康診</li><li>決算額(事業費)</li><li>平成 30 年度</li><li>(千円)</li></ul>	查事業 ■ 市民二 □ 対率性 □ 公平性	所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康 保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28 年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図	が独自に実施して いる事務
<ul><li>④ 30歳代健康診</li><li>決算額(事業費)</li><li>平成 30 年度</li></ul>	查事業 ■ 市民二 □ 有効性 □ 効率性	所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康 保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28	が独自に実施して いる事務
④       30歳代健康診         決算額(事業費)         平成       30       年度         (千円)       43,455	査事業 評二性性の公共 計二性性の公共 に対している はいまま はいまま かいまま これ はいまま かいまま これ はいまま にいまま はいまま にいまま にいまま はいまま はいまま にいます はいまま にいまま にいまま にいまま にいまま にいます にいまま にいまま に	所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは■	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計 おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。	5が独自に実施して いる事務 今後の 方向性 の 3 る 継続
<ul><li>④ 30歳代健康診</li><li>決算額(事業費)</li><li>平成 30 年度</li><li>(千円)</li><li>43,455</li></ul>	査事業 ■ 市気空平性 ロロス は は は は が ある	所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは■	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計 おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。	5が独自に実施して いる事務 今後の 方向性 の 5 る 継続
④       30歳代健康診         決算額(事業費)         平成       30       年度         (千円)       43,455	査事業 ■ 市気空平性 ロロス は は は は が ある	所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは■	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計 おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。	5が独自に実施して いる事務 今後の 方向性 の 3 る 継続
<ul><li>④ 30歳代健康診</li><li>決算額(事業費)</li><li>平成 30 年度</li><li>(千円)</li><li>43,455</li></ul>	査事業 評二 日本	所管室課 保健センター 一で現点 一ズ、社会的役割 能性 ものは■ 所管室課 保健センター	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計 おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期であ	おかれ自に実施している事務
④       30歳代健康診         決算額(事業費)         平成       30 年度         (千円)         43,455         事業名         ⑤       3歳児健診	査 ■ □□□□※ 票	所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割  能性 ものは  「保健センター 」 「保健センター 」 「保健センター 」 「保健・フター 」 「一ズ、社会的役割	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計 おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。	Time
4       30歳代健康診         決算額(事業費)       平成 30 年度         (千円)       43,455         事業名         ⑤       3歳児健診         決算額(事業費)         平成 30 年度	書	所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割 能性 ものは■ 所管室課 保健センター 価の視点 ーズ、社会的役割	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育やるの後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制を表える必要があるため、全額公費負担により実施している。	京が独自にする事後の に実施している事後の 方方の性ののよる 継続 実施区が法定事業全体務 後向性 はない
4       30歳代健康診         決算額(事業費)       平成 30 年度         (千円)       43,455         事業名         ⑤       3歳児健診         決算額(事業費)         平成 30 年度	査 ■□□□□※ 事 □□■□□□ ※ 第二性性性可る	所管室課 保健センター 価の視点 ーズ、社会的役割 能性 ものは■ 所管室課 保健センター 一でででである。 一ででである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計 おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育や7の後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制を	京が独自にする事後の に実施している事後の 方方の性ののよる 継続 実施区が法定事業全体務 後向性 はない
4       30歳代健康診         決算額(事業費)         平成       30 年度         (千円)         43,455         事業名         (5)       3歳児健診         決算額(事業費)         平成       30 年度         (千円)	査 ■ □□□□※ 課	所管室課 保健センター 価の視点 ーズ、社会的役割 能性 ものは■ 所管室課 保健センター 一でででである。 一ででである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育やその後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制を表る必要があるため、全額公費負担により実施している。・内科健診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施ノ・内科健診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施ノ	京が独自にする事後の に実施している事後の 方方の性ののよる 継続 実施区が法定事業全体務 後向性 はない
4       30歳代健康診         決算額(事業費)         平成       30 年度         (千円)         43,455         事業名         (5)       3歳児健診         決算額(事業費)         平成       30 年度         (千円)	査 ■□□□□※ 事 □□■□□□ ※ 第二性性性可る	所管室課 保健センター 価の視点 ーズ、社会的役割 能性 ものは■ 所管室課 保健センター 一でででである。 一ででである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育やるの後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制を表る必要があるため、全額公費負担により実施している。・内科健診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施しているの性診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施しているのものため、内科医師等の確保が必要である。	京が独自にする事後の に実施している事後の 方方の性ののよる 継続 実施区が法定事業全体務 後向性 はない
4       30歳代健康診         決算額(事業費)         平成       30 年度         43,455         事業名         ⑤       3歳児健診         決算額(事業費)         平成       30 年度         22,508	・	所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは■ 「所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育やるの後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制を考える必要があるため、全額公費負担により実施している。・内科健診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施び市民サービスの向上のため、内科医師等の確保が必要である。 ・現料便診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施び市民サービスの向上のため、内科医師等の確保が必要である。・ 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 乳児期の大切な節目である4か月児を対象に、身近な医療機関での 乳児期の大切な節目である4か月児を対象に、身近な医療機関での	示が独自に事務の に事務の に事務後向性 の 事業全事を 事業全事を を を を を を を を を を を を を を を を を を を
4       30歳代健康診         決算額(事業費)       平成 30 年度         (千円)       43,455         事業名       (5)         (5)       3歳児健診         決算額(事業費)       平成 30 年度         (千円)       22,508         事業名	査 ■□□□□※ 事 □□■□□※ 事 三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	所管室課 保健センター 一でででである。 一ででは、社会的役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等において健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育やるの後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制を見える必要があるため、全額公費負担により実施している。・内科健診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施び市民サービスの向上のため、内科医師等の確保が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 乳児期の大切な節目である4か月児を対象に、身近な医療機関での個別健診や、栄養・発達等についての保健指導・グループワークを実	Total Part
<ul> <li>④ 30歳代健康診 決算額(事業費) 平成 30 年度         <ul> <li>年度 (千円)</li> <li>43,455</li> </ul> </li> <li>事業名</li> <li>⑤ 3歳児健診         <ul> <li>決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li></ul></li></ul>	査 ■□□□□※ 事 □□■□□※ 事 三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	所管室課 保健センター 価の視点 ーズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 価の視点 の視点 の視点 ーズ、社会的役割  能性 ものは 原管室課 保健センター の視点 ーズ、社会的役割	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育やその後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制を見る必要があるため、全額公費負担により実施している。・内科健診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施えての共産を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施えていまり、中で表別を集団健診の円滑な実施えていまり、大切な節目である4か月児を対象に、身近な医療機関での個別健診や、栄養・発達等についての保健指導・グループワークを実施する。 事業個本の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題・平成30年度の受診率は98.3%と近年と同様に高い受診率となっており、対象者の利便性において	が独自に本 に実務の 大 に実務の 大 を を を を を を を を を を を を を
<ul> <li>4 30歳代健康診 決算額(事業費) 平成 30 年度         <ul> <li>43,455</li> </ul> </li> <li>事業名</li> <li>(5) 3歳児健診</li> <li>決算額(事業費) 平成 30 年度         <ul> <li>(千円)</li> <li>22,508</li> </ul> </li> <li>事業名</li> <li>(6) 4か月健診</li> <li>決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li> </ul>	査 ■□□□□  ※ 事 □□■□□  ※ 事 □□■□  ※ 事 □□■□□  ※ 事 □□■□□  ※ 事 □□■□□  ※ 事 □□■□□  ※ 事 □□■□  ※ 事 □□□■  ※ 事 □□□■	所管室課 保健センター 一でででである。 一ででは、社会的役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育やるの後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制を見える必要があるため、全額公費負担により実施している。・内科健診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施が市民サービスの向上のため、内科医師等の確保が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 乳児期の大切な節目である4か月児を対象に、身近な医療機関での個別健診や、栄養・発達等についての保健指導・グループワークを実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・平成30年度の受診率は88.3%と近年と同様に高い受診率となっており、対象者の利便性においてをに機関数は妥当であると考えている。・すぐずく条ちゃんクラブ(4か月児健康診査事後指導事業)についても例年どおりの参加率となって	Total
<ul> <li>4 30歳代健康診 決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li> <li>43,455</li> <li>事業名</li> <li>⑤ 3歳児健診</li> <li>決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li> <li>(千円)</li> <li>22,508</li> <li>事業名</li> <li>⑥ 4か月健診</li> <li>決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li> <li>(千円)</li> </ul>	査 ■□□□□ ※ 事 □□■□□ ※ 事 □□□	所管室課保健センター 一でででである。 一ででは、社会的役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計おいて健康診査を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  *30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  *母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育やその後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制を見る必要があるため、全額公費負担により実施している。・内科健診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施が市民サービスの向上のため、内科医師等の確保が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 乳児期の大切な節目である4か月児を対象に、身近な医療機関での個別健診や、栄養・発達等についての保健指導・グループワークを実施する。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 乳児期の大切な節目である4か月児を対象に、身近な医療機関での個別健診や、栄養・発達等についての保健指導・グループワークを実施する。  ***********************************	Table   Ta
<ul> <li>4 30歳代健康診 決算額(事業費) 平成 30 年度         <ul> <li>43,455</li> </ul> </li> <li>事業名</li> <li>(5) 3歳児健診</li> <li>決算額(事業費) 平成 30 年度         <ul> <li>(千円)</li> <li>22,508</li> </ul> </li> <li>事業名</li> <li>(6) 4か月健診</li> <li>決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li> </ul>	査 ■□□□□※ 事 □□■□□※ 事 □□■□ ※ 第二性性性可る 展	所管室課 保健センター 価の視点 ーズ、社会的役割  能性ものは 所管室課 保健センター 一ででででででででででいます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30歳代の市民及び40歳以上の生活保護受給者を対象に市内医療機関等に 計おいて健康診査を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・30歳代を対象とした本事業は、若年者の健康状態を知る機会となり、健康保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は平成28年度から年々減少しており、若年者への本事業の周知、受診者の拡充を図必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児を対象に、医師、歯科医師等による健康診査を実施する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・母子保健法により市町村に実施が義務付けられている事業であり、幼児の発育やるの後のフォロー等に当たって重要な健診となることから、健診を受診しやすい体制をえる必要があるため、全額公費負担により実施している。・内科健診を集団健診において受診する児が増加しており、集団健診の円滑な実施び市民サービスの向上のため、内科医師等の確保が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 乳児期の大切な節目である4か月児を対象に、身近な医療機関での個別健診や、栄養・発達等についての保健指導・グループワークを実施である。  事業の異体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・平成30年度の受診率は98.3%と近年と同様に高い受診率となっており、対象者の利便性において施医療機関数は妥当であると考えている。 ・すくすく赤ちゃんクラブ(4か)月児健康診査事後指導事業)についても例年どおりの参加率となってり、市民が参加しやすいよう実施回数、実施場所等を確保しながら継続して実施していく必要があるとあるといる。まずくすく赤ちゃんクラブ(4か)月児健康診査事後指導事業)についても例年どおりの参加率となってり、市民が参加しやすいよう実施回数、実施場所等を確保しながら継続して実施していく必要があるとあるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといる	Table   Ta

事業名	所管室課	事業名	所管室課
一般事務事業	保健センター		
還付事業	保健センター		

施策コード	341	施策	健康づくりの						
管理事業	保健	事業				9	枚のう	ち	2 枚目
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な	内容を端的に	記入)		5	実施区分
⑦ 6歳臼歯健康	診査事業	保健センター	6歳臼歯及	び永久歯のう蝕予防を目的  健診・歯科保健指導を実施	に市内の協力		院にて		独自に実施し いる事務
決算額(事業費)		平価の視点 - 一ズ、社会的役割	事業自	体の課題や対応状況・施策	推進への貢献	に関する	る課題		今後の 方向性
平成 30 年度	🗆 刈率性	Ė							4h) 4±
(千円 8,960	)口 公平性 口 持続可 ※課題がある	J能性							継続
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な	内容を端的に	記入)		5	実施区分
8 B型·C型肝 検診事		保健センター		で当該検診未受診の市民を対象			ハて検診	市が独	虫自に実施して いる事務
決算額(事業費)		平価の視点 -ーズ、社会的役割		自体の課題や対応状況・施策					今後の 方向性
平成 30 年度	口 右拗州	Ė	なくとも一生に一	ルスに感染しているものの自覚 度は肝炎検査を受診するよう、 引知を図る必要がある。					刀叫压
(千円 4,279		t J能性	・令和2年度の中	核市移行に伴い、現在、保健所 年齢の拡大と委託料の改定が必					拡充
事業名		正常定期		事業概要(事業の具体的な	中京大震的15	=3 7 \	L.		2.佐豆八
事業名       9     がん検診	*	所管室課 保健センター		まに基づき、胃がん、肺がん、大		H=1	「ん検診を	市が独	
		体にこう   一体にこう   一体にこ		関等において実施。 自体の課題や対応状況・施策	推進への貢献に	関する誤	<b>見</b>		いる事務 今後の
決算額(事業費)	■ 市民二	-一ズ、社会的役割	<ul><li>がんの早期発見、</li></ul>	早期治療を目的とし、がんによる死1 あり、また、受診率の向上は経年の	亡者の減少を図る			ん検	方向性
平成 30 年度	□ 効率性	Ē	・国の指針の一部で 補正予算に計上した	対正に伴い、胃がん検診に胃内視鏡 と。また、令和2年度より胃がん検診(	検査を新たに追加	コするため( fの35歳以	こ令和元年度 上から50歳り	した 人上	拡充
291,599	)□ 公平性 ■ 持続可 ※課題がある	J能性	に引き上げの予定。 ・乳がん検診におい のデジタル化に向い	ては、二次読影にかかる事務改善を	を図るために、令利	02年度中の	カマンモグラ:	フィ	加工
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な	内容を端的に	記入)		5	実施区分
① すいた健康サン	ポーター事	保健センター	健康づくり	こついての知識や手法を学で で族や友人等への啓発をはし	び、自らの健身 ごめ、地域活動	更づくりに か等にお	ける予防	市が	独自に実施しいる事務
決算額(事業費)		┃ 評価の視点 ・・・ズーなるの気気	<b>啓発活動を</b> 事業自	推進する「すいた健康サポー 体の課題や対応状況・施策	ーター」養成を 推進への貢献	に関する	る課題		今後の
平成 30 年度	□ 有効性		が、養成講座の参加	的な健康づくりを地域で推進する「す 的者は年々減少している。また、参加	者の年齢層は高	齢者が中心	ことなっていて	「幅	方向性
(千円	■ 効率性 ) □ 公平性 □ 持続可	Ė	度を設け、活動への	こもらえるよう工夫が必要。平成30年 )支援を強化しているが、サポーター 健康に関するイベントなどへの「すし	の役割や活動内容	容について	再検討の予	定。	継続
121	※課題がある		健康づくり推進事業	団等とも連携し検討を進める。					
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な	内容を端的に	記入)		5	実施区分
① たばこ対策技	推進事業	保健センター	禁煙支援及	なび受動喫煙防止対策の推	進に係る事業			市が	独自に実施し いる事務
決算額(事業費)	事 ま足っ	平価の視点 - 一ズ、社会的役割		体の課題や対応状況・施策					今後の 方向性
平成 30 年度	■ 右効州	Ė	ら、総合的な取約	だけなく、環境美化や火災、非行が必要である。今後は、庁内追 含めスモークフリーシティの実理	連携を強化する。	とともに、	行政だけで	なく	기미II
(千円 616		t J能性	めていくことが重	要である。 ¥い、受動喫煙防止にかかる業					拡充
** ** **				古类柳西/古类の日は22-2	内 <i>京土</i> "''	=7 7 \			中华区人
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な			<b>-</b> 4∧=∧		実施区分
⑫ ペプシノゲン胃		保健センター	あるペプシノ	5歳以下の5歳節目の市民を対 ゲン胃検診を市内医療機関に	おいて実施。				虫自に実施して いる事務
決算額(事業費)	_ ■ 市民二	平価の視点 -一ズ、社会的役割	事業自	体の課題や対応状況・施策	推進への頁献	に関する	も課題		今後の 方向性
平成 30 年度	□□ 効率性	Ē	・胃内視鏡検査の	D導入により、胃がん検診の精 診者数が平成12年度の開始と	度向上および受	け皿の弁に減少しっ	を実が図られていることか	るら	縮小又は
(千円 1,719	) □ 公平性 ■ 持続可 ※課題がある	J能性		終えたものと判断し、令和2年3				٠	再構築など
上記以外の予算事	<b>「業</b> ※	施策番号900番、昨年	度で廃止した事	業、指定管理者制度導入施設 <i>0</i>	D管理運営事業	などの評	価対象外事	事業は	こちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課

715 X-	コード	341	施策	健康づくりの推進				
管理	事業	保健	事業	9 枚(	のうち	3 枚目		
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)		実施区分		
13	経過観察健	診事業	保健センター	各種乳幼児健診・相談の結果、経過観察を必要とする乳幼児を対 に、専門医師や発達指導員による健診・相談を実施する。	象 市が	独自に実施し ている事務		
- 油質	I額(事業費)		価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	頁	今後の		
八五	中級(学术貝/	- : : : :	ーズ、社会的役割			方向性		
平成	30 年度	□ 有効性□ 効率性						
	(千円) 4,803		能性			継続		
	± # #			T ### # / T # O H (+ 66 t) D T ## 66 (5 1 1 )				
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)		<u>実施区分</u>		
14)	結核検診		保健センター	結核の祖器発見のため、65歳以上の市民を対象に市内協力医療機関にいて胸部エックス線直接撮影の検診を実施。	お 事業	全体が法定事 務		
決算	類(事業費)		価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の		
		」□ 市民二 □ 有効性	一ズ、社会的役割			方向性		
平成	30 年度	□ 効率性						
	(千円)					継続		
	34,857	□持続可						
<u> </u>		※課題がある	ものは■					
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)		実施区分		
		+ ***		特定健診やがん検診の受診、健康に関する講座への参加等に対	しょが	独自に実施し		
15)	健康ポイン	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	保健センター	てインセンティブを付与し、市民が楽しみながら健康づくりに取り組 ことができる機会を提供する事業 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	ا ا	ている事務		
決算	類(事業費)	■市民二	価の視点 一ズ、社会的役割	事来日本の課題や対心状況・他東性進への貝帆に関する課題 ・多様なインセンティブの提供は、健康への関心の働きかけや行動変容へとつなげる手法と	_	今後の 方向性		
	00 /= #	□ 有効性		であると考える。		刀凹江		
平成	30 年度	□ 効率性		・しかしながら一方で、事業参加者の大半は健康関心層であったことから、健康無関心層や 健康づくりを支援していくため、本事業の見直しが必要であり、平成31年10月から大阪府内	や継続的な			
	(千円)			で展開される「大阪府健康づくりプラットフォーム整備等事業」に本市独自の健康づくりへの	施策に関	継続		
	2,497	■ 持続可		連する事業を盛り込み、「健康づくり支援事業」に再構築して実施する。大阪府事業は、令利 までの予定	和3年度末			
	※課題があるものは■ までの予定。							
					Į			
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)		実施区分		
16	事業名 健康教育・相	談事業	所管室課 保健センター	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健身教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。		実施区分 独自に実施して いる事務		
	健康教育•相	評	保健センター	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健原		独自に実施して いる事務 今後の		
	-	評 市民二	保健センター価の視点ーズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	康市が	独自に実施している事務		
	健康教育•相	<u>評</u> 市民二 □ 有効性	保健センター価の視点一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健放教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の	康市が	独自に実施して いる事務 今後の		
決算	健康教育·相 [額(事業費) 30 年度	  ■ 市民二  □ 有効性  □ 効率性	保健センター価の視点ーズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また	康 市が	独自に実施して いる事務 今後の 方向性		
決算	健康教育·相 [額(事業費) 30 年度 (千円)	  ■ 市民二  □ 有効性  □ 効率性	保健センター価の視点ーズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健放教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の	康 市が かき から から から から から から から から できる から できる から から できる から から できる から	独自に実施して いる事務 今後の		
決算	健康教育·相 [額(事業費) 30 年度	■ 市民二 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性	保健センター価の視点一ズ、社会的役割能性	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管	康 市が かき から から から から から から から から できる から できる から から できる から から できる から	独自に実施して いる事務 今後の 方向性		
決算	健康教育·相 (事業費) 30 年度 (千円) 1,115	■ 市有効率性 □ 対抗・ □ 持続・ □ 持続・	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは■	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健康教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の関り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。	康 市が かき から から から から から から から から から できる から	独自に実施して いる事務 今後の 方向性 継続		
決算 平成	健康教育·相 類(事業費) 30 年度 (千円) 1,115	■ 市民二 □ 市気効性 □ 効率性 □ 分続可 □ 分続の ※課題がある	保健センター価の視点一ズ、社会的役割能性	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管	康市が	独自に実施して いる事務 今後の 方向性 継続 実施区分		
決算 平成	健康教育·相 (事業費) 30 年度 (千円) 1,115	評価	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは 所管室課 保健センター	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管 かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業	康市が記されています。	独自に実施している事務 今後の方向性 継続 実施区分 独自に実施している事務		
決算 平成	健康教育·相 類(事業費) 30 年度 1,115 事業名 康情報管理シ	評価	保健センター 一ズ、社会的役割 能性 ものは■ 所管室課 保健センター	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健放教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	康市が記されています。	独自に実施している事務の方向性 継続 実施区とに事務である。		
平成①	健康教育·相 額(事業費) 30 年度 (千円) 1,115 事業名 健康情報管理シ 修事業 類(事業費)	評二 ■ 市 対 室 性 性 日 日 か 公 持 類 が あ る と ま ま で よ で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま	保健センター 「価の視点 ーズ、社会的役割  能性 ものは■  所管室課  保健センター  価の視点 ーズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管 かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業	康市が記されています。	独自に実施している事務 今後の方向性 継続 実施区分 独自に実施している事務		
決算 平成	健康教育·相 (種類) (種類) (種類) (種類) (本質	■ 市有効率平続する 日	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは 様のは 保健センター ででででは には はの視点 一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管 かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業	康市が記されています。	独自に実施している事務の方向性 継続 実施区とに事務である。		
平成①	健康教育·相 額(事業費) 30 年度 (千円) 1,115 事業名 (康情報管理) (修事業 (額(事業費)	■ 日本	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管 かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業	康市が記されています。	独自に実施している事務の方向性 継続 実施区とに事務である。		
平成①	健康教育·相 (4) 相 (4) 相 (5) 相 (5) 相 (6) 相 (6) 相 (7) 相 (7) 相 (7) 相 (7) 相 (7) 相 (7) 相 (7) 相 (8) 相 (8) 相 (9) 相 (9) (9) 相 (9) a n (9) a n	■ □□□□※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□□ ※ ストーロ□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	保健センター 「価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 「所管室課 保健センター 「価の視点 一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管 かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業	康市が記されています。	独自に事務の方向性といる事後のはいる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる。		
平成①	健康教育·相 (4) 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	■ 日本	保健センター 「価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 「所管室課 保健センター 「価の視点 一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管 かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業	康市が記されています。	独自に事務の方向性といる事後のはいる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる事務の方向性といる。		
平成①	健康教育·相 (種康教育·相 (種原教育·相 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	■ □□□□※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□ ※ ストーロ□□□□ ※ ストーロ□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	保健センター 「価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 「所管室課 保健センター 「価の視点 一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健 教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の 図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管 かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業	康市が活現の一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、	独自に事 後向 に 実務 の に 事 後 向 に 事 後 向 に 事 後 向 と に 事 後 向 と に 事 後 向 と に 事 後 向 と に 事 後 向 と に 事 後 向 と に 事 後 の と に 事 後 の と に 事 後 の と に か に こ に す れ に こ に す に こ に す に こ に す に こ に す に こ に ま れ に こ に ま れ に こ に ま れ に こ に ま れ に こ に ま れ に こ に ま れ に こ に ま れ に こ に ま れ に こ に ま れ に こ に ま れ に こ に こ に ま れ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に		
決算 平成 ① 健 決算 平成	健康教育·相 (種康教育·相 (本) 4 年度 (本) 4 年度 (本) 1,115 事業名 (本) 4 年度 (本) 4 年度 (本	■	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは■ 所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健放教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	康市ができる。中では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	独 la		
決算 平成 ① 健 決算 平成	健康教育·相 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	■ □□□□※ スキュー   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	保健センター 「価の視点 ーズ、社会的役割  能性 ものは  所管室課  保健センター  一ズ、社会的役割  能性 ものは  「所管室課  保健センター  保健センター	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健抗教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  健康情報管理システムに対する改修を行う事業 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  健康情報管理システムの再構築及び保守事業	康市ができる。中では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	独 lo a s p m lo a s		
決算平成 伊	健康教育·相 (種康教育·相 (本) 4 年度 (本) 4 年度 (本) 1,115 事業名 (本) 4 年度 (本) 4 年度 (本	■ □□□□□※	保健センター 「価の視点 ーズ、社会的役割  能性 ものは 「所管室課 保健センター 「価の視点 ーズ、社会的役割  能性 ものは 「所管室課 保健センター 、任健センター	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健抗教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防を制度を表現している。 ・また。 ・また。 ・また。 ・また。 ・また。 ・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・は、・	康市ができる。中では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	独 lo a s a s a s a s a s a s a s a s a s a		
決算       平成       ①       (1)       (2)       (3)       (4)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (9)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)       (15)       (16)       (17)       (18)       (2)       (2)       (2)       (3)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (12)       (13)       (14)       (15)       (17)       (18)       (2)       (2)       (3)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)       (15)       (17)       (18)       (18)       (19)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)	健康教育·相 (種康教育·相 (種原教育·相 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	■ □□□□□※	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健抗教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・要業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) ・事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) ・ままれている。 ・ままれている。 ・ままれている。 ・ままれている。 ・ままれている。 ・まれている。	康 ・	独 lo a s p m lo a s		
決算平成 伊	健康教育·相 (種康教育·相 (種原物育·相 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	■□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□※ ス □□□□※ ス □□□□※ ス □□□□※ ス □□□□∞	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは  所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割  能性 ものは  所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割  能性 ものは  所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健財教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題・システムの再構築を令和元年度に終える予定であり、現時点では予定通りのま。再構築によって得られた新機能や運用効率化、データの活用、他事業へ資果について、次年度以降の検証を要する。	康 普心に理 市 で効 市がで ありょう	独 lu la		
決算       平成       ①       (1)       (2)       (3)       (4)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (9)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)       (15)       (16)       (17)       (18)       (2)       (2)       (2)       (3)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (12)       (13)       (14)       (15)       (17)       (18)       (2)       (2)       (3)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)       (15)       (17)       (18)       (18)       (19)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)	健康教育·相 (種康教育·相 (類(事業費) (新華	■□□□□※ ス □□□□□※ ス □■□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □■□□□※ ス □■□□□□※ ス □■□□□□※ ス □■□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□□※ ス □□□□□□※ ス □□□□□□□∞ ス □□□□□□∞ ス □□□□□□∞ ス □□□□□□∞ ス □□□□□∞ ス □□□□□□∞ ス □□□□□□□□	保健センター 「価の視点 ーズ、社会的役割  能性 ものは 「所管室課 保健センター 「価の視点 ーズ、社会的役割  能性 ものは 「所管室課 保健センター 「一ズ、社会的役割	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健抗教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・システムの再構築を令和元年度に終える予定であり、現時点では予定通りのる。再構築によって得られた新機能や運用効率化、データの活用、他事業へ資果について、次年度以降の検証を要する。・健康情報管理システムは、保健センター所管の保健・健康施策に関連する業・健康情報管理システムは、保健センター所管の保健・健康施策に関連する業・健康情報管理システムは、保健センター所管の保健・健康施策に関連する業・	康 普心に 市 を身生 市 で効 支	独 lo a s a s a s a s a s a s a s a s a s a		
決算       平成       ①       (1)       (2)       (3)       (4)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (9)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)       (15)       (16)       (17)       (18)       (2)       (2)       (2)       (3)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (12)       (13)       (14)       (15)       (17)       (18)       (2)       (2)       (3)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)       (15)       (17)       (18)       (18)       (19)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)	健康教育·相 (種康教育·相 (種原物育·相 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	■□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □■□□□※ ス □■□□□※ ス □■□□□※ ス □■□□□※ ス □■□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□∞  □□□□□∞  □□□□∞  □□□□∞  □□□□∞  □□□□∞  □□□□∞  □□□∞  □□□□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□□∞  □□□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□□∞  □□□∞  □□□□∞  □□□□∞  □□∞  □□□∞  □□□∞  □□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□□∞  □□□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□□∞  □□∞  □□□∞  □□□∞  □□∞  □□□∞  □□□∞  □□∞  □□□∞  □□∞  □□∞  □□∞  □□∞  □□∞  □□∞  □□∞  □□∞  □□∞  □□□∞  □□	保健センター 「価の視点」 「一ズ、社会的役割」 「能性ものは」 「所管室課」 「保健センター」 「価の視点」 「所管室課」 「体健・ローズ、社会的役割」 「作性ものは」 「作性・ローズ、社会的役割」 「作性・ローズ、社会的役割」 「他の視点会の役割」	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健抗教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題・システムの再構築を令和元年度に終える予定であり、現時点では予定通りのる。再構築によって得られた新機能や運用効率化、データの活用、他事業へ資果について、次年度以降の検証を要する。現代健康に関連する業別に関連する業別に関連する業別に関連する業別に関連する業別に関連する業別に関連する業別に関連する業別に関連する業別に対して、次年度以降の検証を要する。	康 普心に 市 を身生 市 で効 支	独 lu la		
決算       平成       ①       (1)       (2)       (3)       (4)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (9)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)       (15)       (16)       (17)       (18)       (2)       (2)       (2)       (3)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (12)       (13)       (14)       (15)       (17)       (18)       (2)       (2)       (3)       (4)       (5)       (6)       (7)       (8)       (9)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)       (15)       (17)       (18)       (18)       (19)       (10)       (11)       (12)       (13)       (14)	健康教育·相 (種康教育·相 (類(事業費) (新華	■□□□□※ ス □□□□□※ ス □■□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□※ ス □■□□□※ ス □■□□□□※ ス □■□□□□※ ス □■□□□□※ ス □□□□□※ ス □□□□□□※ ス □□□□□□※ ス □□□□□□□∞ ス □□□□□□∞ ス □□□□□□∞ ス □□□□□□∞ ス □□□□□∞ ス □□□□□□∞ ス □□□□□□□□	保健センター 「価の視点」 「一ズ、社会的役割」 「能性ものは」 「所管室課」 「保健センター」 「価の視点」 「所管室課」 「体健・ローズ、社会的役割」 「作性ものは」 「作性・ローズ、社会的役割」 「作性・ローズ、社会的役割」 「他の視点会の役割」	広く市民を対象に、生活習慣病、その他健康に関する事項について、健抗教育・相談を実施し、適切な助言指導を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、またの健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 健康情報管理システムに対する改修を行う事業 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・システムの再構築を令和元年度に終える予定であり、現時点では予定通りのる。再構築によって得られた新機能や運用効率化、データの活用、他事業へ資果について、次年度以降の検証を要する。・健康情報管理システムは、保健センター所管の保健・健康施策に関連する業・健康情報管理システムは、保健センター所管の保健・健康施策に関連する業・健康情報管理システムは、保健センター所管の保健・健康施策に関連する業・	康 普心に 市 を身生 市 で効 支	独 lu la		

事業名	所管室課	事業名	所管室課

施策コード	341	施策	健康づくりの推進	
管理事業	保健署	事業	9 枚のう	ち 4 枚目
事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
19 健康情報拠点	推進事業	保健センター	民間の商業施設や市の公共施設等、市民が身近に利用する施設において保 健事業や健康づくりに関する情報提供等を行うことで、市民の健康づくりを推 進する事業	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)		価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	一 今後の
平成 30 年度	□ 市民二 ■ 有効性 □ 効率性		・市民が身近に利用する施設での健康に関する情報発信については、健康無関心 就労者に健康情報を得ることをきっかけとして、健康に対する意識の向上に役立つ	もの
(千円) 141		能性	として考えている。 ・今後、より多くの協力企業の参画を増やす工夫と効果的な啓発方法の検討が必要 ある。	<sub>要で</sub> 継続
	<b>水麻医5.99</b> .9			
事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑩ 健康被害調査委		保健センター	吹田市が実施する予防接種による健康被害を受けた本人やその保護者から 本市への申請があった場合に調査委員会を開催する。	事業全体が法定事 務
決算額(事業費)		価の視点 一ズ、社会的役割	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の 方向性
平成 30 年度	□ 可然一			刀叫压
(千円)	□ 効率性			≪业 ≪ ±
0	□ 公平性 □ 持続可 ※課題がある	能性		継続
事業名		5E 65 52 511	事要排出/事要不且 <i>体的</i> ***中蒙着验的[2]]]	
ロ肿ケストンク	定当中	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  千里ニュータウンブラザ内の口腔ケアセンターにおいて、歯科口腔保	実施区分
② 口腔ケアセンダ 業		保健センター	健に徐る情報の先信及の展示业のに口腔ゲアの推進に徐る事業を 実施する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)		価の視点 一ズ、社会的役割	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の 方向性
平成 30 年度	□ 有効性			731-312
(千円)	□ 効率性 □ 公平性			継続
6,989	□ 持続可			かだから
·	※課題がある	ものは■		
事業名				
- 学未行		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 骨粗しょう症核	診事業	所管室課 保健センター	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。	
② 骨粗しょう症核	評	保健センター	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において	市が独自に実施している事務
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費)	評 市民二	保健センター価の視点ーズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。	市が独自に実施している事務
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度	評	保健センター価の視点一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取	市が独自に実施している事務 今後の方向性
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	■ 市民二 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性	保健センター価の視点一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	市が独自に実施している事務  今後の 方向性
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度	評 ■ 市民二 □ 有効性 □ 効率性	保健センター価の視点一ズ、社会的役割能性	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取	市が独自に実施している事務 今後の方向性
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438	■ 市有効平性性可 時続可	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは■	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取れが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。	市が独自に実施している事務 今後の方向性 組継続
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438	評価	保健センター価の視点一ズ、社会的役割能性	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取れが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	市が独自に実施している事務 一 今後の方向性 組 継続
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438	■ 市内効率平続の おいま では できます できます できます できます できます できます できます できます	保健センター  価の視点 一ズ、社会的役割  能性 toのは  所管室課  保健センター	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取れが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  道院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科 健診を実施。	市が独自に実施している事務 今後の方向性 継続 継続
② 骨粗しょう症 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438 事業名 ② 在宅寝たきり高	■ 市内 対応 下 対応	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割 能性 ものは■  所管室課 保健センター 価の視点	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取れが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科	市が独自に実施している事務 今後の方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438 事業名 ② 在宅寝たきり高 訪問歯科 決算額(事業費)	■ 市有効公持続かる	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは  所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取れが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  道院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科 健診を実施。	市が独自に実施して いる事務 今後の 方向性 組 継続 実施区分 市が独自に実施して いる事務 今後の 方向性
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438 事業名 ② 在宅寝たきり高 訪問歯科 決算額(事業費) 平成 30 年度	■ 市有効公持があ 等	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取 が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科 健診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、 会的役割も高く、継続実施が必要である。	市が独自に実施している事務 今後の方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の方向性 イエー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438 事業名 ② 在宅寝たきり高 訪問歯科 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	■	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課  保健センター  価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、	市が独自に実施している事務 今後の方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の方向性 イエー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438 事業名 ② 在宅寝たきり高 訪問歯科 決算額(事業費) 平成 30 年度	■ 市有効公持があ 等	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは■  所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取 が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科 健診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、 会的役割も高く、継続実施が必要である。 ・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広く	市が独自に実施している事務 今後の方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の方向性 イエー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438 事業名 ② 在宅寝たきり高 訪問歯科 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	■□□□□□※	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは■  所管室課 保健センター 一の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは■	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取 が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。 事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科 健診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、 会的役割も高く、継続実施が必要である。 ・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広く	市が独自に実施している事務 今後の方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今方向性 社 利用 継続
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438 事業名 ② 在宅寝たきり高 訪問歯科 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 8,180	■ □ □ □ □ □ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所で で は の で に の で に の で に の で に に に の で に に に に	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、会的役割も高く、継続実施が必要である。 ・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  体調不良や育児不安があり、家族から育児の援助が受けられない産後2か	市が独自に実施している事務 今後の方向性 継続 実施区分 市が独自に実施している事務 今後の方向性 イエー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438 事業名 ③ 在宅寝たきり高 訪問歯科 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 8,180	■ □ □ □ □ □ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは■  所管室課 保健センター 一の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは■	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、会的役割も高く、継続実施が必要である。・平成31年度当初から、在宅要介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。	市が独自に実施している事務 今後の方向性 継続 実施区実施している事務 今方向性 継続 サーブ はいる事務 今後の 方方向性 はいる事務 今後の方向性 社 利用 継続 実施区分
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 11,438 事業名 ③ 在宅寝たきり高 訪問歯科 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 8,180 事業名	■	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター の視点 一ズ、社会の役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取れ必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、会的役割も高く、継続実施が必要である。・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 体調不良や育児不安があり、家族から育児の援助が受けられない産後2か月以内の産婦及び乳児に対し、医療機関等で宿泊やデイサービスによる心	市が独自に事態している等の 方向性 継続
② 骨粗しょう症核     決算額(事業費)     平成 30 年度	■	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター の視点 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、会的役割も高く、継続実施が必要である。 ・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。  「本部不良等別の方法を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。  本調不良・事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  体調不良や育児で気がし、医療機関等で宿泊やデイナービスによる心身のケアや育児のサポートを実施するとともに体養の機会を提供する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・利用者数が前年度に比べて増加したが、委託事業者が前年度から2事業者増加したことにより	市が独自に事を 今方の性 組
② 骨粗しょう症核     決算額(事業費)     平成 30 年度	■□□□□□※	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター 一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において 骨量測定による検診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取れが必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、会的役割も高く、継続実施が必要である。 ・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 体調不良や育児不安があり、家族から育児の援助が受けられない産後2か月以内の産婦及び乳児に対し、医療機関等で宿泊やデイサービスによる心身のケアや育児のサポートを実施するとともに休養の機会を提供する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・利用者数が前年度に比べて増加したが、委託事業者が前年度から2事業者増加したことにより能な限り利用希望に対応できたと考えている。引き続き委託事業者の確保に努めつつ、その他の後の支援に係る事業と連携しながら実施していく必要がある。	市が独している 今 次 の 内 が はいる
② 骨粗しょう症核     決算額(事業費)     平成 30 年度     11,438      事業名     ② 在宅寝たきり高 訪問歯科     決算額(事業費)     平成 30 年度     年度     8,180      事業名 ② 産後ケア     決算額(事業費)     平成 30 年度     (千円)	■□□□□□※	保健センター  「一ズ、社会的役割  能性ものは  「所管室課  保健センター  「一ズ、社会的役割  能性ものは  「所管室課  保健センター  「一ズ、社会的役割  には 「所管室課  保健センター  「一ズ、社会的役割	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しよう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取対が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、会的役割も高く、継続実施が必要である。・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 体調不良や育児不安があり、家族から育児の援助が受けられない産後2か月以内の産婦及び乳児に対し、医療機関等で宿泊やデイサービスによる心身のケアや育児のサポートを実施するとともに体養の機会を提供する。 事業自体の課題や対応状況・施業推進への貢献に関する課題 ・利用者数が前年度に比べて増加したが、委託事業者が前年度から2事業者増加したことにより制定限り利用希望に対応できたと考えている。引き続き委託事業者の確保に努めつつ、その他の後の支援に係る事業と連携しながら実施していく必要がある。・事業費については、国の補助金の対象に対応できたと考えている。引き続き表記事業者増加したことにより財源保しながら効果的に事業を継続していく必要がある。	市が独山 (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
② 骨粗しょう症核     決算額(事業費)     平成 30 年度	■□□□□□※	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター に対しる の視点 の視点 がいる。	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・高齢期の骨粗しょう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。  事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、会的役割も高く、継続実施が必要である。・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。  「事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)  体調不良や育児不安であり、家族から有りの援助が受けられない産後2か月以内の産婦及び乳児に対し、医療機関等で宿泊やデイナービスによる心身のケアや育児のサポートを実施するとともに体養の機会を提供する。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題  ・利用者数が前年度に比べて増加したが、委託事業者が前年度から2事業者増加したことにより能な限り利用希望に対応できたと考えている。引き続き委託事業者の確保に努めつつ、その他の後の支援に係る事業と連携しながら実施していく必要がある。 ・事業貴については、国の補助金の対象(補助率1/2)であるため、引き続き補助金により財源・事業長については、国の補助金の対象(補助率1/2)であるため、引き続き補助金により財源・事業負については、国の補助金の対象(補助率1/2)であるため、引き続き補助金により財源	市が独している 今 次 の 内 が はいる
② 骨粗しょう症核 決算額(事業費) 平成 30 年度 11,438  事業名 ② 在宅寝たきり高 訪問歯科 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 8,180  事業名 ② 産後ケア 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	■□□□□□※ 高事 ■□□□□■	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター に対しる の視点 の視点 がいる。	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しよう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取対が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、会的役割も高く、継続実施が必要である。・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 体調不良や育児不安があり、家族から育児の援助が受けられない産後2か月以内の産婦及び乳児に対し、医療機関等で宿泊やデイサービスによる心身のケアや育児のサポートを実施するとともに体養の機会を提供する。 事業自体の課題や対応状況・施業推進への貢献に関する課題 ・利用者数が前年度に比べて増加したが、委託事業者が前年度から2事業者増加したことにより制定限り利用希望に対応できたと考えている。引き続き委託事業者の確保に努めつつ、その他の後の支援に係る事業と連携しながら実施していく必要がある。・事業費については、国の補助金の対象に対応できたと考えている。引き続き表記事業者増加したことにより財源保しながら効果的に事業を継続していく必要がある。	市が独している 今 次 の 内 が はいる
② 骨粗しょう症核     決算額(事業費)     平成 30 年度     11,438      事業名     ② 在宅寝たきり高 訪問歯科     決算額(事業費)     平成 30 年度     年度     8,180      事業名 ② 産後ケア     決算額(事業費)     平成 30 年度     (千円)	■□□□□□※	保健センター 価の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは 所管室課 保健センター の視点 一ズ、社会的役割  能性 ものは がいる には	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内医療機関等において骨量測定による検診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・高齢期の骨粗しよう症の予防には、若いころからの適切な生活習慣の取対が必要であり、健康寿命の延伸を図るために継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 通院が困難な在宅寝たきり高齢者等を対象に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。 事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・通院が困難な寝たきり高齢者等にとって、非常に有効な事業であり、市民ニーズ、会的役割も高く、継続実施が必要である。・平成31年度当初から、在宅介護を要し歯科健診を受診できない若年層にも幅広くしてもらえるよう、「在宅要介護者・児訪問歯科健康診査事業」に名称を変更。  事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入) 体調不良や育児不安があり、家族から育児の援助が受けられない産後2か月以内の産婦及び乳児に対し、医療機関等で宿泊やデイサービスによる心身のケアや育児のサポートを実施するとともに体養の機会を提供する。 事業自体の課題や対応状況・施業推進への貢献に関する課題 ・利用者数が前年度に比べて増加したが、委託事業者が前年度から2事業者増加したことにより制定限り利用希望に対応できたと考えている。引き続き委託事業者の確保に努めつつ、その他の後の支援に係る事業と連携しながら実施していく必要がある。・事業費については、国の補助金の対象に対応できたと考えている。引き続き表記事業者増加したことにより財源保しながら効果的に事業を継続していく必要がある。	市がはいる 今方 継

事業名	所管室課	事業名	所管室課

施策=	コード		341		施策	健原	康づくりの	推進								
管理	事業			保健	事業			ı				9	枚のう	うち	5	枚目
	1	業名			所管室課			事業概要(	重業の具	休的な内	突を端的	(TEP X )		1	実施[	文分
25	_	事支持	爰事	業	保健センター		家族等から† により家事が	ト分な家事及	ひ育児の	援助が受け	ーーー けられず、彦	産後の心身				に実施し
決算	額(事業	(費)			価の視点 一ズ、社会的役割			体の課題や						I		を で で で で で で で で で で で で で で り で り で り
平成	30	年度		有効性 効率性		するこ	類始当初は委 ことができた。産 産後の支援に使	を婦が本事業系る事業と連携	を利用しやす 焦しながら実	いよう、引き 施していく必	続き委託事	業者の確保	に努めつつ、	その	/3	, r-3 ( <u>T</u>
	2,295	(千円)		公平性 持続可 題がある	能性	交付金	養については 金により財源を 者に対しても1	確保しながら	効果的に事業	業を継続して	いく必要があ	ある。	るため、引き	続き	ŕ	継続
	4	業名			所管室課			事業概要(	事業の具	体的な内	容を端的	に記入)			実施!	区分
26 産	前·産	後サポ	<u>`</u> —ŀ		保健センター	.	妊産婦及び乳 て経験者や3 施する。	乳児に対して	、家庭や身	身近な場所	で助産師等	手の専門家		市が		実施して
決算	額(事業	(費)			価の視点 一ズ、社会的役割	0.		自体の課題						I		う後の 5向性
平成	30 2,499	年度 (千円)		有効性 効率性 公平性 持続可	能性	思われ べて き続き ・事業	ママ産後ママドれる。また、助抗大幅に増加したき関係機関や専 表情についてはましたがら効果	産師会に委託 こ。産前・産後 厚門職が連携 、一部国の補	している助産 に支援が必要 して事業を実 助金の対象(	師継続訪問 要な妊産婦及 施していく必 (補助率1/	引についても、 なび乳児をしる み要がある。	訪問件数かっかりとサホ	ヾ平成29年度 ピートできるよ	と比 う、引		継続
			※誅	題がある	ものは■											
		業名			所管室課			事業概要(	事業の具	体的な内	容を端的	に記入)			実施[	区分
②) <del>了</del>	どもアロ	レルギ· 業	一予		保健センター		乳幼児健診 保健指導や	、専門医(	こよる診察	•指導等	を行う。				独自に	
決算	額(事業	(費)			価の視点 一ズ、社会的役割			自体の課題								う後の 5向性
平成	30	年度		有効性効率性		方法	どもアレルキ 芸等について	(検討する	必要がある	<b>5</b> 。						
	3,561	(千円)		効率性 公平性 持続可 題がある	能性	·事ま を基 ある	業費につい に運用でき 。	ては、子ど cいるため	もアレルキ か、引き続き	ギー予防薬 き財源を₹	事業助成会 確保しなか	金により概 べら実施し	張ね特定財 ていく必要	け源 要が	ŕ	継続
	<b>=</b>	業名			所管室課			事業概要(	事業の具	体的な内	容を端的	に記入)			実施[	区分
28		フォロー	-事	業	保健センター	.  ;	幼児の集団値 から歯科に係 士による口腔	歯科健診の!	受診者で、なが必要とされ	検査結果及れた幼児に	なび口腔内 こ対して、歯	、生活習慣 対医師や	歯科衛生	市が		実施して
決算	額(事業	(費)			価の視点		事業自	体の課題や	5対応状況	况∙施策推	進への貢	献に関す	る課題			後の
平成	30	年度		有効性 効率性 公平性												<u>i向性</u> 継続
	2,035			持続可 題がある												
	3	業名			所管室課			事業概要(	重業の目	体的坎内	変え 誤め	/ <b>-≣</b> ⊒ 7 \		1	実施	<b>▽</b> △
29		· <del>本口</del> f推進	事業		保健センター		食に対する 持増進を図	意識の向					康の保			に実施し
決算	額(事業	(費)			価の視点 ーズ、社会的役割		事業自信	体の課題や	5対応状況	₹₺施策推	進への貢	献に関す	る課題			後の 1向性
平成	30	年度		中氏一 有効性 効率性		き、	事業は、平成を中心とは	した健康づ	くりの取り	組みを行	うこととし	ているもの	のの、現状	で	/]	7197生
	32	(千円)		公平性 分平性 持続可 題がある	能性	づい	演会が中心 た事業の展 であると考	展開につい							糸	継続
	4	業名			所管室課			事業概要(	事業の具	体的な内	容を端的	に記入)			実施[	区分
30 吹	田市健業団	康づく 日補助			保健センター		公益財団法 動を推進す				対行う	、健康づ <sup>、</sup>	くりの活		独自に	に実施し 事務
決算	額(事業	(費)			価の視点			体の課題も						alla.		後の
平成	30 22,515	年度		有効性 効率性 公平性 持続可	能性	(保健原の2事を)	まで健康づくり センター所管) 医療のまちづ 業業を廃止し、 を図っている。 今年度が800	)と「健康づくり くり」を目指し 平成31年度か また、事業団の 間職員を2人)	推進事業」(で取組を一層 ら新たに「健」 の職員に対し に遣している。	文化スポー 弾進めるため 康づくり活動 、企画調整 今後は、事	ツ推進室所管 に事業団は 対援事業」を 等のノウハウ 業団が自主!	管)において 重要な団体 構築し、事 の伝承及び 的に事業を	補助してきた であると考え 業団の実施 (人材育成を 実施できるよ	が、既存事業の図るた		i 向性 継続
上記以	↓外の∃	<b>净事</b>		!題がある ※	ものは■ 施策番号900番、昨年		容や補助金の存							事業に	はこちら	らに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課

施策	コード	341	施策	健康づくりの推進		
管理	事業	保健	事業		9 枚の	うち 6 枚目
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的	11-≣7 <b>X</b> )	実施区分
31)	吹田市健康 健診事:		保健センター	満75歳以上の後期高齢者医療健康診査の受診 医療機関において、貧血検査・生化学検査・心電 目を加えて実施。	者を対象に、市内	古が独立に宝歩!
決領	算額(事業費)		呼価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢	献に関する課題	今後の
平成	30 年度 (千円) 25,497	□ 有効性 ■ 効率性	: : [能性	・後期高齢者健康診査に含まれていない検査項目を立ことは、高齢者の健康保持・増進に必要なものであり、与するものであるため、継続実施が必要である。高齢は増加している。	疾患の早期発見	こも寄
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的	に記入)	実施区分
32 P	知市立保健也 営審議会運	営事業	保健センター	吹田市立総合福祉会館及び吹田市立保健センター 営に係る事業	ー運営審議会の運	市が独自に実施し ている事務
決算	算額(事業費)		呼価の視点 一ズ 社会的犯割	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢	献に関する課題	今後の
平成	30 年度 (千円) 76	□ 有効性 □ 効率性	- - - - - 「能性	・吹田市立総合福祉会館及び吹田市立保健センター(の審議会の運営事業であり、重要な事業であると考え・一方で令和2年度の中核市移行に伴い、保健センタることを踏まえ、今後事業の再構築等について検討す	ている。 一が保健所の組織	縮小又は
	事業名		所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的	に記入)	実施区分
33	成人歯科健	診事業	保健センター	満30歳以上の市民及び満15歳以上の障がい者を対象に、市内 歯科健康診査及び歯面清掃を実施。後期高齢者医療保険加入 高齢者医療の歯科健診を受診した場合は、本市独自でPMTCを	協力医療機関において 者の市民が、本市で後期	市が独白に宝施し
決算	算額(事業費)		呼価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢	献に関する課題	今後の
平成	30 年度 (千円)	□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性		・健康づくり、介護予防において大切である豊かな食ら や歯茎の健康は欠かせないものであり、市民ニーズに である。		
	127,051	■ 持続可 ※課題がある				
	事業名			事業概要(事業の具体的な内容を端的	に記入)	実施区分
34)	·	※課題がある	ものは■ 所管室課 保健センター	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお	いて検診を実施。	市が独自に実施している事務
	事業名前立腺がん検	※課題がある	ものは■ 所管室課 保健センター		いて検診を実施。	市が独自に実施している事務
	事業名	※課題がある  診事業	・ 所管室課 保健センター 保価の視点 一ズ、社会的役割 に	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお	いて検診を実施。 「献に関する課題 れないものである	市が独自に実施している事務 今後の方向性が、北
決算	事業名 前立腺がん构 草額(事業費) 30 年度 (千円) 25,510	※課題がある 診事 業	・ 所管室課 保健センター 保価の視点 一ズ、社会的役割 に は ■	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお事業自体の課題や対応状況・施策推進への員・がん検診における国の指針には検診項目として含ま摂各市をはじめ全国で約8割の市町村で実施しており見に寄与するものとして継続実施が必要である。	いて検診を実施。 献に関する課題 れないものである。 、前立腺がんの早	市が独自に実施している事務 今後の方向性が、北期発継続
平成35和	事業名 前立腺がん杉 草額(事業費) 30 年度 (千円) 25,510 事業名 血細胞移植後浅 重ワクチン再接利 事業	※課題がある 診事 業	・ 所管室課 保健センター 不価の視点 一ズ、社会的役割 に	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお事業自体の課題や対応状況・施策推進への重いがん検診における国の指針には検診項目として含ま摂各市をはじめ全国で約8割の市町村で実施しており	いて検診を実施。  献に関する課題 れないものである。 、前立腺がんの早  に記入) に記入) に民に対して、再度	市が独自に実施している事務 今後の方向性が、北 期発 継続
平成35和	事業名 前立腺がん核 算額(事業費) 30 年度 (千円) 25,510 事業名 血細胞移植後第 重ワクチン再接移	※課題がある。 事 市有効公持続が 防補 市有 一□□□※ 期費 下 下有効公持続が 下補 市有 一□□□※ 期費 下 に対性性のる 接助 配気効性 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 に対性性のる を対している。 にはいる。 にはいる。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢・がん検診における国の指針には検診項目として含ま摂各市をはじめ全国で約8割の市町村で実施しており見に寄与するものとして継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的造血細胞移植によって、定期予防接種で得た免疫より再度の予防接種が必要となった20歳未満の市の予防接種に要した費用の一部を助成する。事業自体の課題や対応状況・施策推進への責金の交付を受けて実施した。	いて検診を実施。  献に関する課題 れないものである。 、前立腺がんの早  に記入) が失われたことに  に民に対して、再度  献に関する課題	市が独自に実施している事務
決\$ 平成 35 <sup>和</sup> 決\$	事業名 前立腺がん枝 算額(事業費) 30 年度 (千円) 25,510 事業名 血細胞移植後第 重ワクチン再接移 算額(事業費)	※課題がある。 第二世代を持ち、 第二世代を表現の一旦 第二世代を表現の主要を表現の主要を表現して、 第二世代を表現の主要を表現して、 第二世代を表現して、 第二世代の主要を表現して、 第二世代の主要を表現りませんで、 第二世代の生生の生生の生生の生生の生生の生生の生生の生生の生の生生の生生の生生の生生の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢・がん検診における国の指針には検診項目として含ま摂各市をはじめ全国で約8割の市町村で実施しており見に寄与するものとして継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的造血細胞移植によって、定期予防接種で得た免疫より再度の予防接種が必要となった20歳未満の市の予防接種に要した費用の一部を助成する。事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢・新たに設けられた府補助金の交付を受けつつ、平成30年度	いて検診を実施。  献に関する課題 れないものである。、前立腺がんの早  に記入) が失われたことに 民に対して、再度  献に関する課題  は10/10の補助率で  植した児童の感染症	市が独自に実施している事務 今後の 方向性 が、北 期発 実施区分 市が独自に実施している。 ではいる う後内性 でいる事務 今後内性 が、北 継続
決\$ 平成 35 <sup>和</sup> 決\$	事業名 前立腺がん杉 草額(事業費) 30 年度 (千円) 25,510 事業名 (血細胞移植後) 重ワクチン再接移 事業 草額(事業費) 30 年度 (千円)	※ 課題 事 市有効公持が 下補 市有効公持 下有 市有 下 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお事業自体の課題や対応状況・施策推進への員・がん検診における国の指針には検診項目として含ま摂各市をはじめ全国で約8割の市町村で実施しており見に寄与するものとして継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的造血細胞移植によって、定期予防接種で得た免疫より再度の予防接種が必要となった20歳未満の市の予防接種に要した費用の一部を助成する。事業自体の課題や対応状況・施策推進への員・新たに設けられた府補助金の交付を受けつつ、平成30年度金の交付を受けて実施した。・令和元年度以降は補助率が1/2となるが、造血細胞を移や再度の予防接種による費用の負担軽減に大きく寄与する	いて検診を実施。  献に関する課題 れないものである。、前立腺がんの早  に記入) が失われたことに 民に対して、再度  献に関する課題  は10/10の補助率で  植した児童の感染症 事業であるため、府の	市が独自に実施している事務
決\$ 平成 35 <sup>和</sup> 決\$	事業名 前立腺がんが 草額(事業費) 30 年度 (千円) 25,510 事業名 近血細胞移植後 (東京の方) 事業有質(事業費) 30 年度 (千円) 42	※ 課題	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢・がん検診における国の指針には検診項目として含ま摂各市をはじめ全国で約8割の市町村で実施しており見に寄与するものとして継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的 造血細胞移植によって、定期予防接種で得た免疫 より再度の予防接種が変となった20歳未満の市の予防接種に要した費用の一部を助成する。事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢・新たに設けられた府舗助金の交付を受けつつ、平成30年度金の交付を受けて実施した。・令和元年度以降は補助率が1/2となるが、造血細胞を移や再度の予防接種による費用の負担軽減に大きく寄与する金を確保しつつ引き続き実施していく必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的 自殺予防に関する研修等や自殺対策計画策定推画策定は、市町村に義務付けられた。	いて検診を実施。  献に関する課題 れないものである。 、前立腺がんの早  に記入) が失われたことに に民に対して、再度  献に関する課題  は10/10の補助率で  植した児童の感染症 事業であるため、府の	市が独自に実施している事務   今後の性が、北   継続   実施区に事務   下独いる事務   で補助   下がている今方向性   経続   下がている今方向性   日本の   下がている今方向性   日本の   下がている今方向性   日本の   下がている今方の性   日本の   下がている方向性   日本の   日本の
決第       平成       35     利       平成       36	事業名 前立腺がん材 草額(事業費) 30 年度 (千円) 25,510  事業を (1年円) 第一次では、第一次で	※ 課題	ものは■  所管室課  保健センター  「一ズ、社会的役割  「能性ものは■  所管室課  保健センター  「一ズ、社会的役割  「作性ものは■  「「一ズ、社会的役割  「「一ズ、社会の役割  「「一ズ、社会の役割  「「一ズ、社会の役割  「「一ズ、社会の役割  「一ズ、社会の役割  「「一ズ、社会の役割	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢・がん検診における国の指針には検診項目として含ま摂各市をはじめ全国で約8割の市町村で実施しており見に寄与するものとして継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的造血細胞移植によって、定期予防接種で得た免疫より再度の予防接種が必要となった20歳未満の市の予防接種に要した費用の一部を助成する。事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢・新たに設けられた府舗助金の交付を受けて実施した。・令和元年度以降は補助率が1/2となるが、造血細胞を移や再度の予防接種による費用の負担軽減に大きく寄与する金を確保しつつ引き続き実施していく必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的自殺予防に関する研修等や自殺対策計画策定推	いて検診を実施。  献に関する課題 れないものである。 、前立腺がんの早  に記入) が失われたことに に民に対して、再度  献に関する課題  は10/10の補助率で  植した児童の感染症 事業であるため、府の	市が独自に実施している事後の性が、北
決第       平成       35     利       平成       36	事業名 前立腺がんが 算額(事業費) 30 年度 (千円) 25,510 事業名 (加細胞移再事業 算額(事業費) 30 年度 (千円) 42 事業名 地域自殺対	※ 記	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50歳以上の男性の市民を対象に市内医療機関にお事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢・がん検診における国の指針には検診項目として含ま摂各市をはじめ全国で約8割の市町村で実施しており見に寄与するものとして継続実施が必要である。  事業概要(事業の具体的な内容を端的 造血細胞移植によって、定期予防接種で得た免疫 より再度の予防接種が変となった20歳未満の市の予防接種に要した費用の一部を助成する。事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢・新たに設けられた府舗助金の交付を受けつつ、平成30年度金の交付を受けて実施した。・令和元年度以降は補助率が1/2となるが、造血細胞を移や再度の予防接種による費用の負担軽減に大きく寄与する金を確保しつつ引き続き実施していく必要がある。  事業概要(事業の具体的な内容を端的 自殺予防に関する研修等や自殺対策計画策定推画策定は、市町村に義務付けられた。	いて検診を実施。  「献に関する課題 れないものである。 、前立腺がんの早  「に記入) が失われたことに 「民に関する課題  には10/10の補助率で 植した児童の感染症 事業であるため、府の  「に記入) 進に係る事業。計 「献に関する課題 で自殺対策計画を 策計画を 策計画を 第	市が独自に実務   一

事業名	所管室課	事業名	所管室課

施策コード	341	施策	健康づくりの	D推進			
管理事業	保健	事業			9	枚のうち	7 枚目
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な内容を端	的に記入)		実施区分
③ 聴力検診	事業	保健センター	満50歳り	J上70歳以下の5歳節目の市民を対象		聚機関に 市	が独自に実施している事務
決算額(事業費)		価の視点	事業自	体の課題や対応状況・施策推進への	貢献に関する	る課題	今後の
	□ 有効性	一ズ、社会的役割					方向性
平成 30 年度 (千円)	□ 効率性		・中高年層の類あるが、受診を	推聴等を早期発見し、日常生活の質の 皆数は低迷しており課題である。	)向上を図るた	こめに有効で	継続
640	※課題がある						
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な内容を端	的に記入)		実施区分
38 南千里分館管	营理事業	保健センター	千里二ュ- 業	-タウンプラザ内の保健センター南千里		運営事 市	が独自に実施している事務
決算額(事業費)		価の視点 一ズ、社会的役割	事業自	体の課題や対応状況・施策推進への	貢献に関する	5課題	_ 今後の
平成 30 年度	□□ 有効性□□ 効率性						方向性
(千円)	口 公平性						継続
2,292	□ 持続可 ※課題がある						
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な内容を端	的に記入)		実施区分
③ 乳幼児精密健	建診事業	保健センター		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		きに、専市	が独自に実施している事務
—————————————————————————————————————	評	l <sup>-</sup> 価の視点		体の課題や対応状況・施策推進への	貢献に関する	る課題	今後の
	┃■ 市民二 ┃□ 有効性	一ズ、社会的役割	<ul><li>・受診率は7事</li></ul>	程度であり、受診率の向上のための:	T夫が必要で	である。	方向性
平成 30 年度	□ 効率性		・3歳児健診を	行った結果を基に、視聴覚疾病の早期	朝発見につな	げるために	
(千円) 1.159	□ 公平性 □ 持続可		必要な事業で 要がある。	あるため、引き続き全額公費負担によ	り継続して美	き他していくと	継続
.,	※課題がある	ものは■					
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な内容を端	的に記入)		実施区分
40 妊産婦相談支	泛援事業	保健センター	師が専門的な	)母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に見地から支援のコーディネート等を行うとともに、 産後の相談支援、事業の情報提供等を行う。	に対応するため、 妊娠後期に支援	専任保健市	が独自に実施して いる事務
決算額(事業費)		価の視点	事業自	体の課題や対応状況・施策推進への	貢献に関する	5課題	一一一一一一一一一一一一
平成 30 年度	┃□ 市民二 ┃□ 有効性	ーズ、社会的役割 :	・妊娠届出時に概	はな全数の妊婦と面接できており、妊娠期から	の切れ目ないま	支援をするため	方向性
(千円)	■ 効率性 □ 公平性		相談をより効果的	情報提供等につながっているため、事業の重 別に実施し、かつ業務の効率化を図るためタブ	レットの利用を	検討する。	++-+ <del>-</del>
6,753	□ 持続可	能性		シャーについては、返送数自体は少ないが、 握できるなど有効的に活用できているため、「			
	※課題がある	ものは■					
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な内容を端	的に記入)		実施区分
④ 妊婦(両親)教		保健センター	識や技術等	の配偶者が安心して出産を迎えられるよう 関する講演や教室を開催する。			が独自に実施している事務
決算額(事業費)		価の視点 一ズ、社会的役割	事業自	体の課題や対応状況・施策推進への	貢献に関する	5課題	今後の 方向性
平成 30 年度	■ 有効性 □ 効率性			見直したことに伴い、参加組数が変動し		面の動向を見	
(千円) 815	□ 公平性 □ 持続可		ながら参加し <sup>り</sup>	やすい教室運営について検討を重ねて	ていく。		継続
813	※課題がある						
事業名		所管室課		事業概要(事業の具体的な内容を端	的に記入)		実施区分
4② 妊婦・産婦・乳リ 児後期健診		保健センター		.児に対して疾病等を早期に発見し、相目的として医療機関で健康診査を実施		支援を引	事業の一部が法 定事務
決算額(事業費)		一面の視点		体の課題や対応状況・施策推進への			一一一一一一一一一一一一一一一
	┃□ 市民二 ┃□ 有効性	一ズ、社会的役割	成額が府内各市と	期健診・乳児一般健診の受診率は例年通りであ 比べて低いため、費用の実態等を踏まえて助成	額の増額が必要	である。	
平成 30 年度 (千円)	□ 効率性		おり、産後うつの予	新たに実施した産婦健診については、産婦一人当 防や新生児への虐待予防等、産後の初期段階I	こおける母子に対	する支援の強	化工工工
347,870	□ 持続可	能性	率1/2)であるた	いると考える。なお、産婦健診に係る事業費につ め、引き続き補助金により財源を確保しながら効	いては、国の補助 果的に事業を継続	助金の対象(補題 続していく必要だ	
	※課題がある	ものは■	ある。				
上記以外の予算事	業 ※	施策番号900番、昨年	=度で廃止した事	業、指定管理者制度導入施設の管理運営	事業などの評	価対象外事業	と はこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課

施策	コード		341		施策	健康づくりの	)推進					
管理	事業			保健署	事業				9	枚のう	ち	8 枚目
	事	業名			所管室課		事業概要(事業の具体的な内容	マを端的に	记入)		3	実施区分
43	妊婦歯		<b>参事</b>	<del></del>	保健センター	妊婦を対象 医院にて歯 健の向上を	とした歯科疾患の早期発見・早期予 科健康診査・歯科保健指導を妊娠ロ	防を目的に	市内の	協力歯科 、母子保	市が	独自に実施し
決算	額(事業	費)	П	市民一	価の視点 一ズ、社会的役割	事業自	体の課題や対応状況・施策推進	進への貢献	に関する	5課題		今後の 方向性
平成	30	年度		有効性							-	/J I+J IT
	7,066	(千円)		効率性 公平性 持続可 題がある	能性							継続
	事	業名			所管室課		事業概要(事業の具体的な内容	マを端的に	記入)		5	実施区分
44)	不妊治		炎事	業	保健センター		ン方を対象として、不妊治療専門 こよる個別相談を実施する。			目談員	市が	独自に実施し いる事務
決算	額(事業	費)		評 市民二	価の視点 一ズ、社会的役割	事業自	体の課題や対応状況・施策推進	進への貢献	に関する	5課題		今後の 方向性
平成	30	年度		有効性 効率性 公平性		ニーズが高まっ	:り出生する子どもは年々増加しっていることから、その他の不妊 なじた支援を行う必要がある。	ており、不 に係る支援	妊治療( 養事業と	こ対する†連携しつつ	ī民 O、	継続
	170			持続可題がある		コスーへに	心した又抜を117必安かめる。					
	事	業名			所管室課		事業概要(事業の具体的な内容	でを端めに	7 <b>7</b> )		9	実施区分
@ <b>-</b>			/m s**			妊娠を希望	2する女性及びその配偶者、妊娠	振している?	女性の酢	2偶者の		独自に実施し
45 風	しん予防	万接種:	促進		保健センター	者に対して	∪抗体検査の結果、十分な抗体 、風しん予防接種に要した費用	の一部を助	h成する	必要は		いる事務
決算	額(事業	費)			価の視点 一ズ、社会的役割		体の課題や対応状況・施策推進					今後の 方向性
平成	30	年度		有効性 効率性		が見込まれる。現在	り平成30年度は事業費が増加しており、 Eの風しんの流行状況を踏まえても当面に	よ事業を継続す				
		(千円)		公平性		・令和2年度からは	を活用しつつ効率的に実施していく必要が 、中核市以降に伴い、現在大阪府が実施	する風しんの				拡充
	4,295			持続可 題がある		るため予算の確保	と、本事業と統合して効率的に実施できる	ような実施方	法を検討す	する必要があ	ან.	
	事	業名			所管室課		事業概要(事業の具体的な内容	容を端的に	記入)		5	実施区分
<b>46</b>	訪問	指導	事業		保健センター	と考えられる家	人、家族からの依頼があった家庭や乳幻 尿庭を保健師や助産師が訪問し、妊産婦 (新生児訪問、未熟児訪問、妊産婦の訪	や未熟児を含	む乳幼児	で援が必要 こ対して保		の一部が法 定事務
決算	額(事業	費)			価の視点 一ズ、社会的役割	事業自	体の課題や対応状況・施策推進	進への貢献	に関する	る課題		今後の 方向性
平成	30	年度		有効性			ついては、最も育児不安や負担が強 産後早期に専門的助言を得て育児					/J I+J IT
- 172				効率性 公平性		待発生の予防に	寄与することができる事業である。 頃向にあるが、出生数の56.7%の訪					継続
	8,650			持続可 題がある		る増加を図る必		1111 C 00 7 1	7 (2 (7))	HJ11 300C	۵,۷	
	<b>*</b>	<b>翌</b> 万					事業概画/事業の目は始れ中間	5 <i>t</i> #451-	== <b>1</b> \			中华区八
47)	未熟児専	業名 専門相	談事	====	保健センター	熟児の健康	事業概要(事業の具体的な内容 指導員による専門相談を実施し、保保持を図る。また、未熟児交流会に 場を提供し、保護者の育児不安の領	保護者の育児 より未熟児の	不安の軸	経減と未 ・同士の交	市が	実施区分 独自に実施し いる事務
決算	額(事業	費)			価の視点 一ズ、社会的役割		体の課題や対応状況・施策推進				$\overline{}$	今後の 方向性
平成	30	年度		/2 有効性 効率性		療育相談に統	∃談は、令和2年度中核市移行Ⅰ 合するため、廃止とする。					縮小又は
		(千円)		公平性			を流会は、参加者数が非常に少る で検討や実施がされているため				・美	再構築な
	570			持続可 題がある		ニーズ等を踏る	まえ廃止とする。					ど
					所管室課		事業概要(事業の具体的な内容	容を端的に	记入)		5	実施区分
	事	業名			ハロ王郎		へつ リエのガル手笠 ほしのまかせだ	あい 養育医療	***			全体が法定
48 未	事 熟児養育		給付		保健センター	師が入院養育 する医療費を	100g以下の低体重等、種々の未熟性が が必要であると認めた未熟児を対象に、 所得に応じて一部公費負担する。	当該医療機関	での入院	養育に要	事業	事務
		育医療		評	保健センター	師が入院養育 する医療費を 事業自	が必要であると認めた未熟児を対象に、 所得に応じて一部公費負担する。 体の課題や対応状況・施策推進	当該医療機関	での入院に関する	養育に要る課題		事務 今後の
	熟児養育	育医療		<u>評</u> 市民二 有効性	保健センター価の視点一ズ、社会的役割	師が入院養育する医療費を する医療費を 事業自 ・法令に基づく制 酬を基に算出し	が必要であると認めた未熟児を対象に、 所得に応じて一部公費負担する。 体の課題や対応状況・施策推進 度であり、給付の対象となる医療費 ているため適切である。	当該医療機関 <b>生への貢献</b> 遺は医療機関	での入院 に関する から請求	養育に要 る課題 Rされる診療	<b>泰報</b>	事務
決算	熟児養育額(事業30	育医療 費) 年度		評市民二 有効性 効率性 公平性	保健センター価の視点一ズ、社会的役割	師が入院養育する医療費を 事業自 ・法令に基づく制 酬を基に算出し・ ・対象となる未熟 め、自己負担金	が必要であると認めた未熟児を対象に、 所得に応じて一部公費負担する。 体の課題や対応状況・施策推進 度であり、給付の対象となる医療費 にいるため適切である。 児児の世帯の所得税額等を基に自己 の滞納等が生じることのないよう、通	当該医療機関 <u>生への貢献</u> は医療機関 引力を受験 引力に必要し も対に処理し	での入院に関する から請す 収する必ていく必	養育に要 る課題 Rされる診療 必要があるが 要がある。	· 療報 _	事務 今後の
決算	熟児養育 額(事業 30	育医療 費) 年度		評市民二 有効性 効率性	保健センター価の視点一ズ、社会的役割能性	師が入院養育する医療費を事業自 ・法令に基づく制酬を基に算出し、対象となる担色金、・事業費について。	が必要であると認めた未熟児を対象に、 所得に応じて一部公費負担する。 体の課題や対応状況・施策推進 度であり、給付の対象となる医療費 ているため適切である。 児の世帯の所得税額等を基に自己	当該医療機関 <u>生への貢献</u> は医療機関 引力を登り の負担金を徴 の負担割合	での入院 に関する から請す 収する必 ていく必 合計3/	養育に要 る課題 Rされる診療 な要があるが 要がある。 4)であるた	· 療報 _	事務 今後の 方向性

事業名	所管室課	事業名	所管室課

施策コード	341	施策	健康づくりの	り推進					
管理事業	保健	事業				9	枚のう	ち	9 枚目
事業名		所管室課		事業概要(	事業の具体的な内容を	・端的に記入	)	5	実施区分
④ 予防接種健康被 業		ス   大体   技   大   大   大   大   大   大   大   大   大				生じたと認	事業全体が法定 事務		
		平価の視点		体の課題や	対応状況・施策推進へ	への貢献に関	する課題		今後の
	┃□ 市民二 □□ 有効性	-ーズ、社会的役割 -	₹ <b>I</b> ]					_	方向性
平成 30 年度 (千円) 8,837	□ 効率性	: : 「能性							継続
	AND								
事業名		所管室課	7 54 44 55		業の具体的な内容を				実施区分
⑩ 予防接種		保健センター	延を予防す	するため、予防	た伝染のおそれのあり接種を行う。定期接	種は法定事務	务。	事業	の一部が法 定事務
決算額(事業費)	□ 市民=	平価の視点 -ーズ、社会的役割	21		対応状況・施策推進ぐ 5止するには高い接種率			の状	今後の 方向性
平成 30 年度	□ 有効性	Ė	況等を踏まえつ	つ、市民が予防	方接種を受けやすいよう				751-31-
(千円)	□ 効率性□ 公平性			ンの増加や接	種対象者の拡大等によ				継続
921,360	■ 持続ロ ※課題がある	「能性	同様の見通しで いる。	あることから、	持続的な事業実施のたる	めの財源の確保	果が課題となっ	って	41245
事業名		所管室課		事業概要(	事業の具体的な内容を	・端的に記入)	)	3	実施区分
⑤ 離乳食講習	会事業	保健センター	_ 乳幼児の( 講習会を)		に、離乳食の進め方	や調理方法等	手について		独自に実施し いる事務
		平価の視点		体の課題や	対応状況・施策推進へ	への貢献に関	する課題		今後の
	┃□ 市民二 □□ 有効性	-ーズ、社会的役割 -		方や作り方を学え	、ことは、乳児の発育や発達	を促し、適切な咀	嚼や嚥下機能の	の獲	方向性
平成 30 年度	■ 効率性		得につながる。また	こ、インターネット	等の情報が氾濫する中で、 『児不安の軽減につながり』	正しい知識や情報	となる、個々に	応じ	¢nlı ℓ±
(千円) 666	□ 公平性□ 持続□		<ul><li>・行政栄養士として</li></ul>	(母子保健だけで	なく、保健事業全般及び災 いては臨時雇用員の活用を	害時の保健活動の	の企画立案に積	極的	継続
000	※課題がある		121347-07207	ず未の圧占に 70	・では瞬時雇用員の石川と	A 7 C V · V 。			
事業名		所管室課		± ** '					中佐区八
ナ ホ ロ		川日王砞		争耒概要(	事業の具体的な内容を	を端的に記入)	)	3	実施区分
				-タウンプラサ	内の保健センター南			市が	独自に実施し
	業	保健センター	センターの	-タウンプラサ )管理運営事	ド内の保健センター南 業	千里分館及び	「口腔ケア	市が	独自に実施し
	*業 	保健センター	センターの事業自	-タウンプラサ )管理運営事	内の保健センター南	千里分館及び	「口腔ケア	市が	独自に実施し いる事務 今後の
行里ニュータウン 設管理事 決算額(事業費)	業 □ 市民= □ 有効性	保健センター	センターの事業自	-タウンプラサ )管理運営事	ド内の保健センター南 業	千里分館及び	「口腔ケア	市が	独自に実施し
62 千里ニュータウン 設管理事	業 □ 市民= □ 有効性 □ 効率性	保健センタード価の視点	センターの事業自	-タウンプラサ )管理運営事	ド内の保健センター南 業	千里分館及び	「口腔ケア	市が	独自に実施し いる事務 今後の 方向性
① 千里ニュータウン 設管理事 決算額(事業費) 平成 30 年度	*	保健センタ・ 平価の視点 一ズ、社会的役割 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	センターの事業自	-タウンプラサ )管理運営事	ド内の保健センター南 業	千里分館及び	「口腔ケア	市が	独自に実施し いる事務 今後の
行型ニュータウン 設管理事 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	業	保健センター 平価の視点 一ズ、社会的役割 に に に に ものは■	センターの事業自	ータウンプラサッ管理運営事 日本の課題や	・内の保健センター南 業 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	ドロ腔ケア する課題	市が? て	独自に実施し にいる事務 今後の 方向性 継続
行型ニュータウン 設管理事 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	*	保健センタ・ 平価の視点 一ズ、社会的役割 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	センターの事業自	ータウンプラサッ管理運営事 日本の課題や	ド内の保健センター南 業	千里分館及びへの貢献に関	ドロ腔ケア する課題	市が? て	独自に実施し いる事務 今後の 方向性
行里ニュータウン設管理事         決算額(事業費)         平成 30 年度         (千円)         55,309	*	保健センター 平価の視点 一ズ、社会的役割 に に に に ものは■	センターの事業自	ータウンプラサッ管理運営事 日本の課題や	・内の保健センター南 業 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	ドロ腔ケア する課題	市が? て	独自に実施し にいる事務 今後の 方向性 継続
<ul><li>千里ニュータウン設管理事</li><li>決算額(事業費)</li><li>平成 30 年度</li><li>(千円)</li><li>55,309</li></ul>	事業	保健センタ・ 平価の視点 一ズ、社会的役割 に に に ものは■ 所管室課	- センターの 事業自	ータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ できます できます はいまま できます まま できます まま できます まま できます まま できます かいこう かいこう マイン・スティー マイン・スティー マイ・スティー スティー スティー スティー スティー スティー スティー スティー	・内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	する課題	市が? て	独自に実施し (いる事務 今後の 方向性 継続 実施区分
行       1	・ 業	保健センター 「一ズ、社会的役害」 「能性 ものは ■ 所管室課 「一ズ、社会的役害」	事業自	ータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ できます できます はいまま できます まま できます まま できます まま できます まま できます かいこう かいこう マイン・スティー マイン・スティー マイ・スティー スティー スティー スティー スティー スティー スティー スティー	・内の保健センター南 業 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	する課題	市が? て	独自に実施し にいる事務 今後の 方向性 継続
<ul><li>千里ニュータウン設管理事</li><li>決算額(事業費)</li><li>平成 30 年度</li><li>(千円)</li><li>55,309</li></ul>	業 市有効公弁続かる R 対性性 る に 上性性 る に し に かいま かいま に かいま	保健センター 不一ズ、社会的役割 に 能性 ものは 一 所管室課 不価の視点 一ズ、社会的役割	事業自	ータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ できます できます はいまま できます まま できます まま できます まま できます まま できます かいこう かいこう マイン・スティー マイン・スティー マイ・スティー スティー スティー スティー スティー スティー スティー スティー	・内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	する課題	市が? て	独自に実施したいる事務の今後の生産を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を
(千里二ュ一タウン 設管理事 決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 55,309 事業名	・ 業	保健センタ・ 一ズ、社会的役割 一だ、社会的役割 一が、社会的役割 一が、社会的役割 一が、社会的役割	事業自	ータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ できます はいまま できます かいまま できます まま できます まま できます まま できます まま できます かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かい	・内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	する課題	市が? て	独自に実施したいる事務の今後の生産を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を
<ul> <li>千里ニュータウン設管理事</li> <li>決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li> <li>(千円)</li> <li>55,309</li> <li>事業名</li> <li>決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li> </ul>	業 市有効公持動物 民効率平続ある 民効率平続ある 民効率 目の 日本	保健センター 「一ズ、社会的役害」 「能性もものは」 「所管室課」 「一ズ、社会的役害」 「一ズ、社会的役害」	事業自	ータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ できます はいまま できます かいまま できます まま できます まま できます まま できます まま できます かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かい	・内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	する課題	市が? て	独自に実施したいる事務の今後の生産を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を
(1)       千里ニュータウン 設管理事 決算額(事業費)         平成 30 年度       (千円)         55,309       事業名         決算額(事業費)       平成 30 年度         (千円)       (千円)	業 市有効公持題 市有効公持	保健センター 「一ズ、社会的役害」 「能性 ものは」 「所管室課 「一ズ、社会的役害」 「一ズ、社会的役害」 「に性 ものは」	事業自	タウンプラサー 管理運営事 体の課題や 事業概要(事)	で内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	する課題	市が、て て	独自に実施し (上いる事後の性 今方向性 継続 今方向を終 を を を を を を を を を を を を を を を を を を
<ul> <li>千里ニュータウン設管理事</li> <li>決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li> <li>(千円)</li> <li>55,309</li> <li>事業名</li> <li>決算額(事業費)</li> <li>平成 30 年度</li> </ul>	業 市有効公持題 市有効公持	保健センター 「一ズ、社会的役害」 「能性もものは」 「所管室課」 「一ズ、社会的役害」 「一ズ、社会的役害」	事業自	タウンプラサー 管理運営事 体の課題や 事業概要(事)	・内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	する課題	市が、て て	独自に実施したいる事務の今後の生産を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を
(1)       千里ニュータウン 設管理事 決算額(事業費)         平成 30 年度       (千円)         55,309       事業名         決算額(事業費)       平成 30 年度         (千円)       (千円)	業 市有効公持題 市有効公持	保健センター 「一ズ、社会的役害」 「能性 ものは」 「所管室課 「一ズ、社会的役害」 「一ズ、社会的役害」 「に性 ものは」	事業自	タウンプラサー 管理運営事 体の課題や 事業概要(事)	で内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関	する課題	市が、て て	独自に実施し (上いる事後の性 今方向性 継続 今方向を終 を を を を を を を を を を を を を を を を を を
(シ)       千里ニュータウン設管理事         決算額(事業費)       平成 30 年度         (千円)       55,309         事業名       決算額(事業費)         平成 30 年度       (千円)         事業名       (千円)	業 市有効公持題 市有効公持題 市有効公持題 市有効公持題 市有効公持題 市有効公持の では、	保健センター 「一ズ、社会的役害」 「能性 ものは ■ 所管室課 「一ズ、社会的役害」 「能性 ものは ■ 所管室課 「一ズ、社会的役害」	事業自	タウンプラサータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ では、	で内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ	千里分館及び への貢献に関 への貢献に関	する課題	市が、て て	独自に実施しに、
(1)       千里ニュータウン 設管理事 決算額(事業費)         (1)       平成 30 年度         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (1)       (1)         (2)       (1)         (2)       (1)         (2)       (2)         (3)       (2)         (4)       (2)         (5)       (2)         (4)       (2)         (5)       (2)         (6)       (2)         (6)       (2)         (7)       (2)         (3)       (4)         (4)       (4)         (5)       (4)         (6)       (4)         (7)       (4)         (2)       (3)         (4)       (4)         (5)       (4)         (6)       (4)         (7)       (4)         (2)       (4)         (3)       (4)         (4)       (4)	業	保健センター 「一ズ、社会的役害」 「能性」 ものは。」 「所管室課 「一ズ、社会的役害」 「に性」 ものは。」 「所管室課	事業自	タウンプラサータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ では、	で内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ	千里分館及び への貢献に関 への貢献に関	する課題	市が、て て	独自に実施しに (実施) 今方 (大)
(1)       千里二ュータウン設管理事業費)         決算額(事業費)       平成 30 年度         (55,309)       事業名         (大算額(事業費)       平成 30 年度         (大円)       事業名         (大円)       事業名	業	保健センター 一ズ、社会的役割 に 一ズ、社会的役割 所管室課 「能性ものは」 「能性ものは」 「新管室課 「能性ものは」	事業自	タウンプラサータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ では、	で内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ	千里分館及び への貢献に関 への貢献に関	する課題	市が、て て	独自に実施しに、
行型ニュータウン設管理事業         決算額(事業費)         平成 30 年度         (千円)         55,309         事業名         決算額(事業費)         平成 30 年度         (千円)         事業名         決算額(事業費)	業	保健センター 「一ズ、社会的役害」 「能性もものは」 「所管室課」 「一ズ、社会的役害」 「能性ものは」 「所管室課」	事業自	タウンプラサータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ では、	で内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ	千里分館及び への貢献に関 への貢献に関	する課題	市が、て て	独自に実施しに、
(1)       千里二ュータウン設管理事業費)         決算額(事業費)       平成 30 年度         (55,309)       事業名         (大算額(事業費)       平成 30 年度         (大円)       事業名         (大円)       事業名	業	保健センター 一ズ、社会的役割 一ズ、社会的役割 一点のは 一点のは 一点のは 一点のは 一点のは 一点のは 一点のは 一点のは	事業自	タウンプラサータウンプラサータウンプラサータウンプラサータ では、	で内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ	千里分館及び への貢献に関 への貢献に関	する課題	市が、て て	独自に実施しに、
(1)       千里ニュータウン 設管理事 決算額(事業費)         平成 30 年度       (千円)         55,309       事業名         ・ 次算額(事業費)       平成 30 年度         ・ 平成 30 年度       (千円)         ・ 平成 30 年度       (千円)	業 □□□□□※ □□□□□□	保健センター 一ズ、社会的役割 一ズ、社会的役割 一点のは。 「能性ものは。」 「能性ものは。」 「所管室課」 「一ででででできる。」 「一ででででできる。」 「一でででできる。」 「一でででできる。」 「一でででできる。」 「一でででできる。」 「一ででできる。」 「一ででできる。」 「一ででできる。」 「一でできる。 「一ででき。 「一でで。 「一ででき。 「一ででき。 「一でで。 「一でで。 「 「一でで。 「 「一でで。 「 「一でで。 「 「一で。 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	事業自	タウンプラサッ管理運動や 事業概要(事業概要(事業概要(事業))	で内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ 対応状況・施策推進へ	千里分館及びへの貢献に関いています。 の貢献に関いています の貢献に関いています の貢献に関いています いの貢献に関いています いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	する課題	市が、て	A
(1)       千里ニュータウン設管理事業(事業費)         (2)       平成 30 年度         (55,309)       事業名         (4)       (4)         (55,309)       事業名         (55,309)       事業名         (55,309)       事業名         (55,309)       事業名         (50,309)       年度	業 □□□□□※ □□□□□□	保健センター 一ズ、社会的役割 一ズ、社会的役割 一点のは。 「能性ものは。」 「能性ものは。」 「所管室課」 「一ででででできる。」 「一ででででできる。」 「一でででできる。」 「一でででできる。」 「一でででできる。」 「一でででできる。」 「一ででできる。」 「一ででできる。」 「一ででできる。」 「一でできる。 「一ででき。 「一でで。 「一ででき。 「一ででき。 「一でで。 「一でで。 「 「一でで。 「 「一でで。 「 「一でで。 「 「一で。 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	事業自	タウンプラサッ管理運動や 事業概要(事業概要(事業概要(事業))	で内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ	千里分館及び への貢献に関 への貢献に関	する課題	市がてて	A
(1)       千里ニュータウン 設管理事 決算額(事業費)         平成 30 年度       (千円)         55,309       事業名         中成 30 年度       (千円)         事業名       (千円)         上記以外の予算事	業	保健センター 一ズ、社会的役割 一ズ、社会的役割 一点のは。 「能性ものは。」 「能性ものは。」 「所管室課」 「一ででででできる。」 「一ででででできる。」 「一でででできる。」 「一でででできる。」 「一でででできる。」 「一でででできる。」 「一ででできる。」 「一ででできる。」 「一ででできる。」 「一でできる。 「一ででき。 「一でで。 「一ででき。 「一ででき。 「一でで。 「一でで。 「 「一でで。 「 「一でで。 「 「一でで。 「 「一で。 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	事業自	タウンプラサッ管理運動や 事業概要(事業概要(事業概要(事業))	内の保健センター南業 対応状況・施策推進へ 事業の具体的な内容を 対応状況・施策推進へ 対応状況・施策推進へ 対応状況・施策推進へ	千里分館及び への貢献に関 への貢献に関	する課題	市がてて	August 1